

全国訪問教育研究会

第36回全国大会（北海道）開催要項

2023年4月20日

※Zoomを使用してオンラインで開催します。

■実行委員長挨拶■

新型コロナウイルス感染症対策のため、全国一斉臨時休業の措置がとられてから3年余りが経過しました。この3年間に振り返ってみると、様々な思いがこみ上げてきます。全国各地では、たいへん厳しい状況のもとでも、訪問教育学級に在籍する児童生徒の願いに応えるため、保護者のみなさん、関係機関のみなさんと手を結び、知恵を出し合いながら不断の努力を続けてこられたことと思います。そのことに対して、心から敬意を表するものであります。

全国訪問教育研究会第36回北海道大会を開催するにあたり、開催方法について、現地実行委員会と全国訪問教育研究会の役員、事務局の皆様と議論を重ねて参りました。その時点では、感染拡大の収束を見通すことができなかつたこともあり、第36回北海道大会をWeb開催とさせていただきます。

今大会のテーマは「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして～ウテカンパ（手をつなぐ）わたしたちの願いを紡いでいくために～」とさせていただきます。「ウテカンパ」という言葉は北海道の先住民アイヌの方の言葉です。

コロナ禍において、私たちが果たせなかつたことが数多くあります。同時に、困難な中にあつても光り輝くものを見だし、教育実践に結びつけることができたことがあることと思います。そこには、分かち合えるものがたくさんあることでしょう。

Web開催という制約がある中でも、ご参加いただいた方々が手をつなぐことができるように万全の準備を進めております。そして、「私たちの願い」を一緒に紡いでいくことができたら幸いです。

北海道での大会はこれが2回目となります。1990年代初頭、私がまだ30歳の時でした。札幌の奥座敷と呼ばれる定山溪のホテルに、全国各地から大勢の訪問教育担当者が集まり、数多くのレポート発表、活発な討論、夜の楽しい交流。ものすごい熱量だったことを覚えています。

そして、30年の時を経て、再び北海道で大会を開催できることをうれしく思います。訪問教育担当者のみならず、重症心身障害児を担当されている教職員の皆さん、保護者の皆さんとお子さん、医療、福祉、教育機関関係者のみなさんも参加できる研究大会です。

全国訪問教育研究会について、これまでご存じなかつた方がいらっしゃるかと思います。PC、スマートフォンなどで「全国訪問教育研究会」と検索していただければたくさんの情報を得ることができますので、よろしく願いいたします。

それでは、心より参加をお待ちしております。

全国訪問教育研究会第36回全国大会（北海道）実行委員長
千種 一郎（元・全国訪問教育研究会副会長）

■大会テーマ■

「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして
～ウテカンパ（手をつなぐ）わたしたちの願いを紡いでいくために～」

■開催日時■

2023年8月3日（木） 13:00～16:45
8月4日（金） 9:30～11:30 13:00～16:35

■主催■

全国訪問教育研究会

■後援■（申請中を含む）

文部科学省・厚生労働省
 全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
 全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会
 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会
 全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク
 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
 北海道教育委員会・北海道特別支援学校校長会

■大会日程

8月3日（木）		8月4日（金）	
13:00	開会行事・基調報告（～13:30）	9:30	ワークショップ「ホスピタルアート」 （～11:30）
13:45	大会記念講演「ゆめ水族園」 （～15:45）	11:30	休憩（～13:00）
16:00	全訪研総会（～16:45）	13:00	分科会（～16:00）
		16:15	閉会行事（～16:35）

■内容■

（1）全体会（開会行事） 8/3(木) 13:00～13:30

- ①開会挨拶 榎木 暢子（全国訪問教育研究会会長）
- ②実行委員長挨拶 千種 一郎（元・全国訪問教育研究会副会長）
- ③親の会より 福田 智佳子（全国訪問教育親の会）
- ④基調報告
- ⑤開催地からの報告

北海道でのコロナ禍における各学校の教育実践や、教育保障のために卒業延長を実施した取り組みについて報告します。また、夏のオンライン開催ではありますが、冬の厳しさや楽しさを感じて頂ければと思い、冬の訪問教育についても発信します。

（2）大会記念講演 8/3(木) 13:45～15:45

演題「楽しもう！プロジェクションによる感覚刺激体験」

講師：山本明彦（セイコーエプソン株式会社）

ゆめ水族園アートディレクション担当（感覚刺激を作り出すための空間やファンタスカーのデザイン、映像制作など）

牧田優理（セイコーエプソン株式会社）

ゆめ水族園プログラムディレクション担当（感覚刺激体験のプログラムデザイン、病院や支援学校とのゆめ水族園内容調整など）

<講演内容>

全国の特別支援学校や病院などで実施している「ゆめ水族園」。Fantas Projection（ファンタスプロジェクション）をベースに、映像、音楽、揺れるスクリーンを組み合わせ、やわらかな空間を作り、視覚、触覚、聴覚などを通じて豊かな感覚刺激体験をお届けする活動です。これまで、120件を超える施設で開催しており、そこでは多様な表現が生まれています。

「ゆめ水族園」を皆さんのもっと身近に。

プロジェクションのコツ、映像を作るコツなど、みなさん自身が手軽に実践いただけるようなヒントを事例と共にご紹介します。

☆ゆめ水族園ホームページ

<https://corporate.epson/ja/sustainability/citizenship/fantas-aquarium/>

(3) 全訪研総会 8/3(木) 16:00～16:45

全訪研の昨年度の活動、今後の活動方針について話します。

- ①活動報告（2022年8月～2023年7月の全訪研の活動内容）
- ②2022年度決算報告、会計監査
- ③2023年度予算
- ④2023年度活動方針
- ⑤規約
- ⑥役員候補
- ⑦事務局員委嘱

(4) ワークショップ（※今回は全体会で行います。） 8/4(金) 9:30～11:30

「心ひらき 感覚に触れ 生きる力を輝かせたい！ ホスピタルアートで向きあうチャレンジの現場」

講師：高橋雅子

<講師紹介>

ホスピタルアーティスト

NPO 法人ワンダーアート代表理事・Wonder Art Production・Hospital Art Lab・ARTS for HOPE 代表
米国州立 Western Michigan University 芸術学部卒。

アメリカ現代美術のギャラリーを経て、美術館 Petit Musee のシニアキュレーターに。美術展覧会の企画やワークショップ、美術館運営に携る。1999年に Wonder Art Production、2004年に Hospital Art Lab を設立。美術館や博物館における子どもの情操教育プログラム、医療現場や地域社会をステージにしたさまざまなアートプロジェクトをプロデュースし、現場でのナビゲーターもつとめる。病院に温かさを運ぶホスピタルアート活動は、全国と世界の病院 100 か所で 500 回以上。

<内容紹介>

「ホスピタルアート」とは、命と向き合う医療現場で、患者さんの心の面をサポートする活動です。

（NPO 法人 WONDER ART ホームページから引用 <http://www.wonderart.info>）

長年、病気や障がいなど命と心に関わる現場で、アートで生きる力を応援し続けてきた高橋さん。高橋さんの活動から、表現することが、その人自身の生きる力につながり、その人自身の輝きにつながるアート活動について学んでいきます。また、絵の具を使ったアート活動について学習していきます。

(5) 分科会 8/4(金) 13:00～16:00

	分科会名	分科会のねらい（◆共同研究者）
①	健康・身体づくり	障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対するかかわりについて考えましょう。姿勢づくりや呼吸支援等、子どもの活動を引き出すために必要なことについて講義と実践を交えて交流しましょう。 ◆竹脇真悟（埼玉県立宮代特別支援学校）
②	コミュニケーション	重度・重複障害児とのコミュニケーション関係を築くための支援や配慮について、訪問での教育実践について交流しましょう。それぞれの発達段階にある子どもを丁寧に観察、その主体的な反応を活用して主体的・対話的な学びを深める視点から、幅広く協議・討議をしましょう。重症児と言われる子どもたちは「反応がつかめない」「応答が乏しい」と言われがちですが、丁寧な関わりで意思表示や心の内面を捉えていく実践やその方法について話し合しましょう。 ◆高木 尚（全国訪問教育研究会全国事務局）

③	授業づくり・教育課程Ⅰ	<p>授業・教材づくり、複数訪問やスクーリング、行事への取り組みなど、日々の実践や悩みを交流しあいましょう。</p> <p>教育課程の視点から、訪問学級の子どもたちにふさわしい学びと生活について討議しましょう。</p> <p>よろしければ、教材もご紹介ください。</p> <p>◆木下博美（全国訪問教育研究会 元副会長）</p>
④	授業づくり・教育課程Ⅱ	<p>表出や表現を援助する手段として、ICT 機器等が活用されています。GIGA スクール構想の推進で配布されたタブレット端末等の活用を含めて、教材や授業づくりについて学び合いましょう。</p> <p>よろしければ、教材もご紹介ください。</p> <p>◆荻田知則（愛媛大学）</p>
⑤	病院や施設における教育	<p>“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児や施設入所児者の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内施設内訪問教育の実践を深めていきましょう。</p> <p>◆栗山宣夫（育英短期大学）</p>
⑥	教育と地域での生活支援 ー医療・福祉・教育の連携	<p>子どもたちの学びと生活を豊かにするためには、「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたち、内部疾患のある子どもたちなど、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と地域での生活を考えていきましょう。</p> <p>◆土島智幸（医療法人稲生会 理事長）</p> <p>◆下川和洋（全訪研全国事務局・NPO 法人地域ケアさぼーと研究所 理事）</p>

●分科会でのレポート発表を希望される方へ

次の①～④について、**6月10日までにレポート担当宛に連絡をお願いします。**

- ①分科会名・氏名・学校名または所属先名
- ②メールアドレス
- ③レポートタイトル
- ④レポート内容に関して、個人情報保護の配慮が必要かどうか

<p><レポート担当> 全国訪問教育研究会 全国事務局 栗山 弘子 h-kuri@peach.ocn.ne.jp</p>
--

・発表されたレポートは、全訪研の研究集録「訪問教育研究 第36集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくをお願いします。

(6) 閉会行事 8/4 16:15～16:35

- ①実行委員長あいさつ
- ②全訪研会長からの謝辞
- ③大会宣言
- ④次期開催地から一言
- ⑤閉会あいさつ
- ⑥歌「小さな いのち」

■申込みについて■

○申込み期間 5月1日（日）～ 7月27日（木）

○参加費

会員：2500円（研究収録あり・・・研究収録の代金は年会費に含まれています。）

一般：3000円（研究収録なし）

一般：4400円（研究収録あり）

学生・保護者（家族）：1000円（研究収録なし）

学生・保護者（家族）：2400円（研究収録あり）

※上記の研究収録は「訪問教育研究第36集」です。今回の大会の内容や訪問教育に関する資料が掲載されており、2023年12月発行予定です。会員の方、研究収録を申し込まれた方に送付致します。

※参加費が振り込まれた時点で申込み受付となります。申込後、大会に参加できなくなった場合、参加費は返金できません。ご了承ください。

○申込方法

① ②のどちらかの方法で申し込んでください。（学校からの出張等の場合は、下記★を参照）

今大会の申込はチケット販売サービス「Peatix」を使用します。

①下記の URL または QR コードから Peatix のサイトを開き、「チケットを申し込む」からお申込みください。

<http://ptix.at/H3J6fF>



②全国訪問教育研究会ホームページから申し込む。

<http://zenhoken.com> から全訪研ホームページに入れます。

全訪研ホームページ→「全国大会」をクリック→開催要項が開きますので、申込方法のページにある URL から Peatix のサイトを開き、「チケットを申し込む」からお申込みください。

※申し込まれた方には Peatix から「チケットお申し込み詳細」のメールが届きます。スマホや携帯電話から申し込まれる方は、tickets@peatix.com からのメールを受け取れるようにしておいてください。Peatix からの「チケットお申し込み詳細」のメールが届かない場合には、下記の間合せ先（全国事務局長）までご連絡ください。

★学校等、所属先から公金参加の場合には上記の方法で申込みできません。事務局で代わって申し込みますので、下記の全国事務局長までご連絡ください。

■資料の請求について■

大会記録がほしいという場合は、2023年12月に発行予定の「訪問教育研究 第36集」を送付致します。大会の内容や訪問教育に関する資料が掲載されています。代金は、送料込みで、1400円です。ご希望の方は、参加申し込みの際に「研究収録あり」チケットをお申し込みください。

※全訪研会員の皆様へ・・・2024年2月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究 第36集」を送付しますので、「研究収録あり」チケットの申込みはしないでください。

■問い合わせ先■

<全訪研会長> 榎木 暢子 kashiki.nagako.mc@ehime-u.ac.jp

<全国事務局長>長 正晴 chou_masaharu@yahoo.co.jp

○全訪研ホームページ <http://zenhoken.com>（こちらから開催要項のダウンロードができます。）